

資料1

中原区区民会議

中原区制40周年を迎えて
(課題調査部会・運営部会審議のまとめ)

2012. 1. 18

1 中原区制40周年を迎えて ～区民会議として振り返るとともにこれからの中原について～

各委員からの提案

A イベント

- A-1 シンポジウム
- A-2 音楽会
- A-3 交流イベント
- A-4 作品展
- A-5 展示、販売会
- A-6 避難訓練、
防災講座
- 新規 ミュージカル

B 記念碑、記念像等

C グッズ

D 施設等の整備、誘致

E メッセージ、啓発活動

F 調査、研究

部会委員の抽出した取組

- A-1 シンポジウム、講演会
- A-2 区内の吹奏楽団
- A-3 夏祭り、イベントに参加、
- A-4 なかはらの未来像として
区内小中高生から募集
- A-5 区の商品、製品
- A-6 ぼうさい講座、避難訓練
- 新規 ミュージカル

- B- (1) パンジーのモニュメント
- B- (2) カプセル
- B- (3) 記念樹
- 新規 シンボルマークの旗、
ポール

C- (2) 中原音頭

E- (4) 中原のPR

F- (3) 再開発等による人口増

F- (4) 中原の統計データ

取組を活かす柱立て (区民会議として実施可能なもの)

1 市民報告会

- ・ 実施予定日
平成24年5月13日(日)
- ・ 実施予定会場
中原市民館
- ・ 実施内容
例) シンポジウム、イベント、
写真展、地域活動紹介など

☆採り入れ可能な取組

- A-1、A-2、A-5、
A-6 (一部)、E- (4)、
F- (3)、F- (4)、
F- (2)

2 既存の活動での取組

- ・ 区制40周年を契機とした人
とのつながり
- ・ ネットワークの活用

3 既存事業との協働

- ・ 既存事業への参加と協力

* 40周年として取り扱うには難しい取組

I 区民会議として実施できる範囲を越えている取組 II 既存の事業と差異がない取組

III 周年事業として特に取り組むことを要しない取組 IV テーマに合致しない取組

市民提案による事業の募集(案)

2 中原区制40周年を迎えて

課題調査部会で抽出した40周年を迎えてのテーマ

テーマ		選んだ理由	取組
世代間交流、人がつながるまち、絆づくりをめざして地域コミュニティを強化しよう	地域コミュニティの強化	東日本大震災を経験し、多くの方が防災対策に興味関心を持たれています。40周年という節目にあたる時に本格的に取り組むのは良い機会だと思っています。また、必然的にコミュニケーションをはかる事ができると思っています。	A-1-(1) A-1-(2) A-4 A-6 【新規項目(ミュージカル)】 B-(1)
	地域コミュニティを強化しよう	自治基本条例に基づき区民自ら暮らしやすい地域社会をつくりたいという意識の醸成をめざす。	
	地域コミュニティ強化(人的交流)	防災避難訓練を実施し災害時に備える事が出来る。高齢化、子育て支援など協力に貢献出来る。	
	人がつながるまちをめざして	防災、防犯など安全安心なまちづくりには、人とひとのきずなを強める関係が大切である。	
	人がつながるまちをめざす	住民の入れ替わりが多い上に、再開発による変化の激しいなかで、交流とつながりの活性化を目指す。	
	世代間交流	幅広い年齢層が一同に集まるイベントですので、絶好のチャンスだと思います。	
	震災に負けない、絆づくり強いまちにしよう	この時代を共に暮らす区民同士(仲間)として、何かを残したいので。	
区制40周年記念	なかほら40周年	40周年を迎え、新旧全員で祝う	A-1-(2) A-2-(1) A-2-(2) A-3-(1) A-3-(2) A-3-(3) B-(1) B-(2) B-(3)
	区制40周年記念シンポジウム開催	区制40周年記念行事で多くの地域住民の参加を期待。	
	区政40周年を音楽で祝おう!	心に残る記念行事にできると考えたためです。	
みんなのまち中原	みんなのまち中原	街はみんなが造り、一員であることを伝えたい。	C-(2)
もっと中原を知ろう	もっと中原を知るために	各区で少子高齢化が進む中で、中原区は反対の動きとなっている。この状況で区の課題を考えほしい。また、区の変化を知ることによって将来の姿を考えてほしい。	F-(3) F-(4)
人に優しいハートフルなかほら	人に優しいハートフルなかほら	若い世代か地域参画できるような声かけ、働きかけをする。	A-5
中原の魅力発信(と交流)	中原の魅力を発信して交流しよう!	豊富な魅力や資源、そして多くの人が集まる中原区だからこそ、イベントの内容を充実させることができ、成果をあげることができると考えました。	A-3-(1) A-3-(2) A-3-(3) A-5
	中原の魅力発信	住み良い地域(安全、安心、繁栄の有る街)で有る事を知らせる。	
未来に夢と希望を託して	未来に夢と希望を託して	点が線になり、未来へと繋がる。1人1人がその中の1員を構成している。大切な存在である、というようなことが伝わればと願って。	A-2-(1) A-2-(2) A-4 E-(4)

3 中原区制40周年を迎えて

◆ テーマのキーワード

ア 地域コミュニティや人とのつながりを深める

イ 世代を超えて交流したい

ウ 未来に向かって



◆ テーマの設定

世代をこえて人がつながるなかはら

未来に夢と希望を託して

4-1 中原区制40周年を迎えて

課題調査部会で抽出された取組 (1)

	カテゴリの細分化	取組み内容		課題調査部会の委員が 取組みを選んだ理由	取組の可能性 ●難しい取組 (I~IV)
		方策	理由		
A-1 シンポジウム 賛成: 3	A-1-(1) (まちのコミュニティ形成 に向けた講演と区民会議 についての意見交換の二 部制)	市民報告会でシンポジウムを開催 第一部講演会:再開発で大きく変 化するまちのコミュニティ形成につ いて 第二部意見交換会:区民会議の 取組みが地域と一体感がもてる よう意見交換をする。	若い世代の多い中原区がこれからも魅力ある まちであり続けるために、区民自らが地域の課 題発掘と解決に参画していけるよう、「人のつな がり」「郷土愛」の意識向上を働きかける。	市民報告会の参加者を増やすための工夫が 必要。区民会議からの一方的な情報発信だけ ではなく、委員と区民一人ひとりが対話をしな か、日頃どんな事に関心があるのかを直接聞く ことが重要である。	市民 報告会
	A-1-(2) (昔と今の中原、将来の 中原を語る)	記念シンポジウム 「40年を振り返って」と「未来のこ と」を老若男女の話で聞く。変わり つつある中原の今と昔・そして未 来へ。地元の古老・小中学生にパ ネルディスカッション風に出演して もらい、過去の中原の話やこれか らの中原をどうしたいなどの夢を 語ってもらう。		区民自ら地域の課題発掘をし、問題解決のため に参画する意識の向上につなげる。 昔と今の中原、将来の中原を語る。(魅力の有 る地域を継承する為)	市民 報告会
A-2 音楽会 賛成: 5	A-2-(1) (区内の小中高生をとりこ む、交流)	区民会議主催で中原市民館を利用 して「区制40周年記念音楽祭」 を実施。	年に一度エポックなかはらで中・高生の吹奏楽 コンサートが実施されている。NEC・富士通や、 とても上手な学校もあるため40周年記念音楽祭 を実施すれば大勢の区民が来てくれると考えら れる。	・40周年事業のアピールは音楽会・交流イベント などの祭典が良い(必要)。 ・区民の皆様が気軽に参加したり、楽しんで頂 けるから。 ・音楽の町「川崎」ですから、当然区政40周年記 念誌は中原も音楽の町「中原」です。 ・地域住民の参加が期待できる。 ・今回のような記念の催しに「音楽」は最適です。 これに、中原区を活動の拠点とする音楽家や団 体が出演し、質の高い音楽で40周年をお祝い するというのは、区民のみなさんに喜ばれ、心 に残ると思います。	市民 報告会
	A-2-(2) (記念事業として有名なバ ンド、歌手を呼ぶ)	記念事業として有名なバンド、歌 手を呼んで記憶に残るイベントを 実施。		・40周年事業のアピールは音楽会・交流イベント などの祭典が良い(必要)。 ・区民の皆様が気軽に参加したり、楽しんで頂 けるから。 ・音楽の町「川崎」ですから、当然区政40周年記 念誌は中原も音楽の町「中原」です。 ・今回のような記念の催しに「音楽」は最適です。 これに、中原区を活動の拠点とする音楽家や団 体が出演し、質の高い音楽で40周年をお祝い するというのは、区民のみなさんに喜ばれ、心 に残ると思います。	市民 報告会

4-2 中原区制40周年を迎えて

課題調査部会で抽出された取組 (2)

	カテゴリの細分化	取組み内容		課題調査部会の委員が 取組みを選んだ理由	取組の可能性 ●難しい取組 (I~IV)
		方策	理由		
A-3 交流イ ベント 賛成: 2	A-3-(1) (夏祭り等での交流の場 の提供)	夏祭り(区役所を活用できな いか)で交流の場を提供。	住人の入れ替わりが激しく、再開発で企 業を含めまちの色が変化しているため、 交流するきっかけづくりを支援する。	・40周年事業のアピールは音楽会・交流 イベントなどの祭典が良い(必要)。 ・中原区が誇る様々な魅力や資源を、40 周年記念を契機とし広くアピールでき、こ れに交流の要素を加えることで、新しく中 原区に住まわれる方を含め、地元・地域 に関心を深めていただくと同時に、新た なコミュニティの形成にもつなげる機会と なると考えました。	既存の 活動
	A-3-(2) (他主体が参加するイベ ント、区民会議のPR)	中原区民館で大西学園や橋 高校、NEC、富士通を招待し、 にぎやかなイベントを開催し、 区民会議の委員も出席して 「区民会議をご存知ですか」 キャンペーン実施。	区民会議をもっと区民に周知することが 重要だと考えているため。	・40周年事業のアピールは音楽会・交流 イベントなどの祭典が良い(必要)。 ・中原区が誇る様々な魅力や資源を、40 周年記念を契機とし広くアピールでき、こ れに交流の要素を加えることで、新しく中 原区に住まわれる方を含め、地元・地域 に関心を深めていただくと同時に、新た なコミュニティの形成にもつなげる機会と なると考えました。	市民 報告会
	A-3-(3) (絆、安心・安全のテーマ を組み込む)	人間関係の絆、安心・安全の まちづくりというテーマを東日 本の震災の教訓を生かして イベント等に入れるようにする イベントを実施する場合はあ まり使用をかけずに手づくりで 行なうようにする。		・40周年事業のアピールは音楽会・交流 イベントなどの祭典が良い(必要)。 ・中原区が誇る様々な魅力や資源を、40 周年記念を契機とし広くアピールでき、こ れに交流の要素を加えることで、新しく中 原区に住まわれる方を含め、地元・地域 に関心を深めていただくと同時に、新た なコミュニティの形成にもつなげる機会と なると考えました。	既存事業 と協働
A-4 作品展 賛成:4		「なかはらの未来像」作品展と して区内小中高生を対象に絵 画、作文、標語を募集。	現在まちづくり推進委員会が募っている ポスターはマナーアップや環境破壊等、 地域の大人たちへの警鐘が主体となっ ているが、未来を担う子どもたちの視点から 「ゆめのまち」「魅力あるまち」をみんな で一緒に考える。	・絵画、作文、標語を子ども達だけではなく、 区民(各種団体を通じて)に参加してもら えたら願います。 ・地域を知る、子供達の意識意欲向上。 (区民の交流の場を提供)良い作品の表彰 を検討。(参加する意欲) ・住み続けたいまち、大好きなまち夢のま ち…子どもたちにも魅力ある中原区のま ちづくりに参加してもらおうきっかけをつくる。	市民 報告会

4-3 中原区制40周年を迎えて

課題調査部会で抽出された取組 (3)

カテゴリの細分化	取組み内容		課題調査部会の委員が 取組みを選んだ理由	取組の可能性 ●難しい取組 (I~IV)
	方策	理由		
A-5 展示、販売会 賛成: 2	地域産業についての住民と事業者の相互理解を促すための地域の産品、製品を展示会と販売する会。	地域の産品、製品を展示して販売する住民の理解と認識を深めることと、地域産業に対するニーズを把握してもらい、地域で活動している産品、製品の活動促進に協力、支援する。	<ul style="list-style-type: none"> ・地域で活動をしている産品、製品の理解と認識を得る(事業者と住民の相互理解、地域の活性化)展示販売の場所で参加者と企業が共に商品、製品を作れるとより以上価値がある。 ・再開発による転入者や若い世代の人たちに中原区の産業をPRして地域活性化を図る。 	市民報告会
A-6 避難訓練、防災講座 賛成: 1	町会単位での避難訓練を実施。先駆けて防災ガイドブックの配布、「ぼうさい講座」を開催。	実際に避難をしてみることで見えてくる確認事項もあると考えているため。	<ul style="list-style-type: none"> ・実際に訓練をしてみることで気が付く事があると思っているため。 幅広い世代の意見が組み込まれた防災マップは、近隣(地域)にどんな方がお住まいなのかを知るきっかけにもなるのではないかと思います。 	市民報告会
【新規項目】 ミュージカルの公演 (中原区の歴史や風土にちなんだ演目内容) 賛成: 1	中原区の歴史や風土にちなんだミュージカルの演目を公演。区民の参加を区民会議で呼びかけし、発表にいたるまで区民会議委員が実行委員として関わる。		<p>中原市民館を拠点にPTA活動をさせていただいておりますが、学習の場として幅広い年代の方が様々な活動をされています。しかし、世代間交流の機会が少ないのではないかと感じております。音楽や踊り・ダンスなどの発表が行われ、この活動が定着しています。活動されている団体はどれも素人とは思えないほどの完成度です。それらを融合した「ミュージカル創り」を是非とも実現していただきたいと思っております。</p> <p>区制40周年を機として「中原区の歴史・風土を組み込んだ子ども達や幅広い世代が参加できるミュージカル創り」という取組みを区民</p>	既存事業と協働

4-4 中原区制40周年を迎えて

課題調査部会で抽出された取組 (4)

カテゴリの細分化	取組み内容		課題調査部会の委員が 取組みを選んだ理由	取組の可能性 ●難しい取組 (I~IV)	
	方策	理由			
B 記念碑、記念像等 賛成:3	B-(1) (パンジーのモニュメント)	中原区の花、パンジーを生かしてモニュメントを設置。		・40周年イベントのアピールとなり、かつ、以後も思いをつなげる(語るためのツールに活用できる) ・大きな節目ということで、何か形として残るものがあったとも良いと思いました。	Ⅲ
	B-(2) (記念カプセル)	40周年の記念としてカプセルの設置。		40周年イベントのアピールとなり、かつ以後も思いをつなげる(語るためのツールに活用できる)	Ⅲ
	B-(3) (記念樹)	記念樹を植える。	かつて中原は柿の生産地だったため。	40周年イベントのアピールとなり、かつ以後も思いをつなげる(語るためのツールに活用できる)	既存事業と協働
	新規 シンボルマークの活用	シンボルマークを使った旗を作製し、区内のイベント等に活用し、主たる掲揚場所として等々力公園内にポールを設置する。		せっかく中原のシンボルマークがあるにもかかわらず活かしきれていない。もっと区民に周知し浸透させることにより、区への愛着及びイメージアップをもたらすことができるものと考え、区制40周年にあたり区のシンボルマークを模した旗を作製し中原を広く区民にアピールする。また、区の行事等をはじめ区内の活動団体のイベントの際にも掲揚することにより旗の有効活用と区への誇りと愛着を深めることができる。区を中心である等々力公園にポールを設置することにより、より一層の効果が期待できる。	既存事業と協働

4-5 中原区制40周年を迎えて

課題調査部会で抽出された取組 (5)

カテゴリの細分化			取組み内容		課題調査部会の委員が 取組みを選んだ理由	取組の可能性 ●難しい取組 (I~IV)
			方策	理由		
C グッズ 賛成:2	C-(2) (中原音頭)		中原音頭を作成(中原のうた第2弾)し、盆踊り等で活用。	住人の入れ替わりが激しく、再開発で企業を含めまちの色が変化しているため、交流するきっかけづくりを支援する。	・町内の参加が多いイベントでの活用ができ、中原への求心力を高められる。	既存事業 と協働
	E メッセージ、 啓発活動 賛成:1	E-(4) (中原の快適さ の再認識)	現在住んでいる人たちに、もっとこの中原区が生活していくにも、将来も、最も快適な場所であるということを再認識してもらう。		町内会等を通して、区内の隅々まで知って頂けるようなPRをして頂けたらと考えています。	
F 調査、研究 賛成:1	F-(3) (再開発の計画 や人口増加の 展望、子育て 支援)		マンション等建設計画の展望と期間がどれほどのものなのか、今後どのくらい人口が増えるのか、子育て応援体制について考える。		・情報を提供することで、再開発で新たに移住した方、区の将来を考える方が区の現状を把握できる。この情報に基づいて将来の区を考えてほしい。この冊子をもとに出前授業も必要であろう。	市民 報告会
	F-(4) (実態把握のま とめ)		中原区の50周年を目指して、現在の中原区の実態を把握するための各種統計データを基礎資料としてまとめる。事業構築・展開するための実態把握。資料概要としては、区民の暮らしに関するデータ(人口統計、事業所、商業、緑地・公園等)、環境に関するデータ(再開発、土地利用、住環境、河川、防災、町内会・自治会、医療機関、医療施設)。	もっと中原を知るため	・情報を提供することで、再開発で新たに移住した方、区の将来を考える方が区の現状を把握できる。この情報に基づいて将来の区を考えてほしい。この冊子をもとに出前授業も必要であろう。	

5-1 中原区制40周年を迎えて

課題調査部会で抽出されなかった取組 (1)

			取り組み内容		課題調査部会の委員が 取り組みを選んだ理由	取組の可能性 ●難しい取組 (I~IV)
カテゴリの細分化			方策	理由		
A イベント	A-3 交流 イベント	A-3-(4) (各地区での区長との 対話)	区長さんが各地区に出向いて 対話をもち、写真を一緒に撮っ て出席者みんなに配布。			IV
		A-3-(5) (町内会に出向くミニイ ベント)	ミニイベントでいろいろな所(町 会など)に出向き、ミニコンサ ート、健康チェック、健康食の試食 (食についてアドバイス)、子ど もとの遊び。			既存の 活動
C グッズ		C-(1) (絵はがき)	中原区版「絵はがき」の作成 区制40周年を記念して区民会 議の委員それぞれが「絵はが き」となる対象物件を提案し、区 民会議委員が選んだ「中原区 版絵はがき」を発行する。費用 については区民会議委員一人 一万円の寄付金を原資とする。			I
		C-(3) (冊子)	冊子の発行。	もっと中原を知るため		II
D 施設等の整 備、誘致		D-(1) (飲食店誘致)	若者向けの飲食店等の誘致。	若者が増加したにもかかわらず飲食店が少 ない。		I
		D-(2) (子ども専用や球場整 備)	専用子ども野球場の整備。	子ども野球場がない		I
		D-(3) (自転車専用道路設 置)	自転車の専用道路の設置。	自転車専用道路充実		I
		D-(4) (町医者誘致)	町医者の誘致。	町医者が少ない。		I

5-2 中原区制40周年を迎えて

課題調査部会で抽出されなかった取組 (2)

カテゴリの 細分化	取組み内容		課題調査部会の委員が 取組みを選んだ理由	取組の可能性 ●難しい取組 (I~IV)
	方策	理由		
E メッセージ、 啓発活動	E-(1) (お互い様の精神)	向こう三軒両隣、お互い様の精神、思いやり、いたわりの優しいを育む。	経済的、肉体的、精神的、人間関係いろいろあると思いますが、向こう三軒両隣、お互い様の精神、思いやり、いたわりの優しい心が一番大切な心根であるため。	Ⅲ
	E-(2) (災害時の安否確認、 避難誘導方法の検討)	災害時に安否確認、救出、避難誘導を無理なく行なう方法を考える。	直下型の地震の発生が危惧され、災害時に安否確認、救出、避難誘導を如何に無理なく行なうかを考える必要があるため。	Ⅲ
	E-(3) (笑顔あふれるまち)	人とすれ違う際、必ず会釈なり挨拶を交わすように、人情味のある笑顔あふれるまちに。	現在は見知らぬ人を警戒することが主なり流となっていますが、もう少し人情味のある笑顔あふれるまちになればと願うため。	Ⅲ
	E-(5) (子育て支援ネットワーク活動の周知)	子育て支援ネットワーク会議の活動等をもっとわかりやすく周知する方策を考える。	核家族の多い中原区内では、子どもの成長とともに悩みを抱える方が多くなっていると感じているため。	Ⅲ
F 調査、研究	F-(1) (火災報知器の設置、 点検)	火災報知器の設置と点検。平成24年度に入ってからアンケートを配布、報知器の可動等を確認。	設置義務化から約1年経過するのでよい時期と判断。	I
	F-(2) (中原区誕生の史料)	中原区の誕生についての史料を提出。(資料は別添)	-	市民 報告会

6 中原区制40周年を迎えて

◆ 取組の柱 市民報告会

- 実施予定日；平成24年5月13日(日)
- 実施予定会場；中原市民館

◎ 実施可能と思われる取組

A-1；記念シンポジウム、講演会

A-2；区内の学校・大学等の吹奏楽団による演奏

A-5；区の産品、製品の展示

A-6；ぼうさい講座、避難訓練などの防災情報の提供

E-(4)；中原のPR

F-(3)；再開発の状況及び人口動態の情報提供

F-(4)；区に関する統計情報の提供

F-(2)；区の歴史

7 中原区制40周年を迎えて

◆ 市民報告会での実施内容の提案、意見

- 多目的ホールにて、学校や企業に呼びかけた音楽コンサートや、有名な方のコンサートを交えながら、中原区区民会議の活動報告を行うとともに、区民会議のPRをしたり、まちのコミュニティ形成や、変わりつつある中原の今と昔・そして未来などを語るシンポジウムを開催してはどうか。
- フォトコンテストの入選作品や区制40周年記念写真集の写真を用いた展示をしては。
- エレベーター前のホール等も活用して、子どものマナーアップポスターや、中原区の企業の技術が分かる製品等の展示をしては。
- 体験コーナーとして、中原区に立地する企業の製品体験や、防災に関する報告、AED講座などがあるとよいのでは。

8-1 中原区制40周年を迎えて

市民報告会の構成（その1）

スケジュール案

	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
多目的ホール				の区 報 告 会 議	コンサート 地元学校 企業の演奏 演奏 30分+ 準備 10分以上	休憩	シンポジウム 講演会 パネルディス カッション	休憩	コンサート 有名な演奏家等、 大人の演奏で 楽しめるもの	
会議室 3 会議室 4				写真・展示コーナー 案) フォトコンテストの入選作品の展示 40周年記念写真集の展示 など						
エレベーター前の ロビー				展示会 案) 子どものマナーアップポスターの展示 中原区の企業の技術が分かる製品等の展示 など						片 付 け
会議室 5				(仮)体験コーナー 案) 中原区に立地する企業の製品体験 防災に関する報告 など						
視聴覚室	(仮)音楽演奏者の控室									
会議室 6	シンポジウム・講演者の控室									

8-2 中原区制40周年を迎えて

市民報告会の構成（その2）

スケジュール案

	9:30	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
多目的ホール				コンサート 地元学校 企業の演奏 演奏 30分+ 準備 10分以上	休憩	の区 報 民 会 議	シンポジウム 講演会 パネルディス カッション	休憩	コンサート 有名な演奏家等、 大人の演奏で 楽しめるもの	
会議室3 会議室4 部屋を 繋げて 使用する				写真・展示コーナー 案) フォトコンテストの入選作品の展示 40周年記念写真集の展示 など						
エレベーター前の ロビー				展示会 案) 子どものマナーアップポスターの展示 中原区の企業の技術が分かる製品等の展示 など						片 付 け
会議室5				(仮)体験コーナー 案) 中原区に立地する企業の製品体験 防災に関する報告 など						
視聴覚室	(仮)音楽演奏者の控室									
会議室6	シンポジウム・講演者の控室									

9 中原区制40周年を迎えて

市民報告会の会場

中原市民館の配置図案

